

科目名	国際ビジネス論	
担当者	大重 康雄 / OOSHIGE, Yasuo	
科目情報	法ビジネス / 選択 / 前期 / 講義 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	我が国では少子高齢化のため国内市場が縮小しつつあり、海外市場へ活路を求めるグローバル化が地場企業においても、極めて重要な経営戦略となりつつある。本講では前半、国際ビジネスに必要な外国為替等基礎理論・貿易理論・国際マーケティングの基礎を学び、後半で地場企業の国際化の現状を考える。
	到達目標	国際ビジネスに必要な基礎理論及び実践的なグローバル戦略を習得し、グローバルな視点で企業経営を考えることができることを目指す。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> (1) 国際化のなかの日本 (2) 外国為替取引と為替レート (3) 国際収支構造とマクロ経済 (4) 国際貿易の理論と WTO 体制 (5) 輸入取引と決済 (6) 輸出取引と決済 (7) WTO を補完する FTA/EPA の進展 (8) EU に見る地域統合の歴史と現状 (9) 東アジアへの企業進出（対外直接投資）の現状 (10) 国際標準化と知財管理 (11) 国際マーケティング戦略と企業経営 (12) グローバル人的資源管理 (13) 地場企業国際化の状況・ワークショップテーマ選定 (14) 国際ビジネス論ワークショップ（意見発表・討論） (15) まとめ 	
自学自習	事前学習	・講義計画に沿って、前もってテーマが含まれる時事を調べておくこと。（講義中に各自の意見を求める。）
	事後学習	・第6回・第12回終了時にテーマを指定し小レポートを課す
使用教材・参考文献	<p>【教】教科書は特に指定しない。講義中に配布するプリントを用いる。</p> <p>【参】伊藤元重「ゼミナール国際経済入門」2005年 日本経済新聞社 日本経済新聞社「グローバル・マーケティング入門」2009年、日本経済新聞社 小川紘一「国際標準化と事業戦略」2009年、白桃書房 丹下博文「企業経営のグローバル化研究」2007年、中央経済社</p>	
成績評価方法と基準	<p><基準> 下記評価方法で基礎理論理解及び実践的考察が認められたものは合格とする。</p> <p><方法> ①受講態度 10% ②小レポート 30% ③最終試験 60%</p>	
備考		